

## 子どもまちあそび事業表現活動体験プログラム「集まれ！紀の国っ子忍者達！」

### 学生・一般ボランティア 感想

・子どもだけでなく、大人まで楽しめるというのがよかった。人と関わるのが少なくなっている中、このように遊びを通してつながれるというのは、大人も子どもにとっても良い機会だなと思った。

私たち信愛大学は、これから子どもと関わるが多くなっていく中、このようなボランティアに参加できたことを光栄に思い、今回ここで一緒にした遊び方や、取り組み方を参考にし、これからの学校生活に取り入れていきたい。そして、今回の参加者みんながおもしろく、楽しかったです。

私も子どもの頃、忍者に憧れていたが、このような体験はしたことがなかったので、十数年たった今、なつかしい気持ちを思い出しながら一緒に楽しむことができました。本当にありがとうございました。

(信愛大学生)

・2日間のボランティアでしたが、私が思っていたボランティアとまた違って、とても新鮮でした。1日目のボランティアで他のボランティアの人達と関わり、一緒に楽しむことができたおかげで緊張がなくなり、とてもよかったです。2日目は子どもたちも加わって、正直とても疲れました。でもそれは全力で子どもたちと遊んだからだと思います。また機会があれば参加したいと思うのでよろしく願います。(信愛大学生)

・忍者になるのは思ったよりしんどくて、体の衰えを感じました…。10日、11日と2日間参加させていただきましたが、今日、このイベントが大成功したのは、運営の人達をはじめ、ボランティアとして参加した大人達が全員、温かい人達だからだと思います。子どもに楽しんでもらうために、まず自分達が楽しむ、素敵なことだと思います。“面白い”が倒れて“面倒”にならないために、『面白がる』ことが大切だと学びました。この考えは、これからの自分の人生に大いに役立つと思います。大人も子どももみんな笑顔で全力で、年齢を超えたつながりが広がり、本当に素晴らしい空間でした。参加して本当に良かったと心の底から思いました。自分も、このように温かい人間になって、子どもの笑顔を守る活動をしていきたいです。貴重な経験をありがとうございました。(信愛大学生)

・人生で初めての忍者体験でとても楽しかったです。子ども達の元気さや楽しむ力はとてもすてきだなと感じ、自分も見習っていかないといけないなと思いました。普段何も感じる事ができなかった街が、子ども達と過ごすことで、こんなにも楽しくて、楽しむことができる街なんだなと思えることができました。今回の体験をしてみて、私は「楽しもうとする心」がとても大切であることを学ぶことができました。その心さえあれば、いつも楽しく明るく過ごすことができるんだなと子どもと一緒に過ごすことで痛感しました。(信愛大学生)

・この2日間のボランティアで、1日目は大人だけ集まって遊び、2日目は子どもたちとも遊び、普段できない経験ができました。1日目は年齢に幅のある方達と交流ができ、コミュニケーションを取れるいい機会になりました。2日目はほとんど子どもと関わり、交通マナーなど注意しながら歩んでいくのも自分の将来につながるものだと思います。自分にとってこの2日間はいい経験になりました。(信愛大学生)

・子ども全員が楽しめるかつ、安全なように1年生は寺内の検索、2年以上は町探索といった配慮がなされていて参考になった。複数のグループや大学が合わさって一つのイベントをつくるということは難しくもあり、達成感もある。それを学ぶことができただけで有意義な時間だったなと感じた。(信愛大学生)

・1年生は元気いっぱいについていくのがとてもしんどかったです。忍者ということで「どんなものをするのだろう」と不安を抱えていたのですが、1日目からボランティアのみんなで心を通わせ協調性を高める遊びができたので、2日目も楽しく緊張せずに楽しむことができました。子どもたちと直に関わることができると思ってなかったのが、宝さがしをするときに自分たちもできると分かってとてもうれしかったです。動きまわったのでしんどかったです、それと同時に得るものが多かったです。(信愛大学生)

・今回の忍者ボランティアで、地域ボランティアのすばらしさを感じました。地域の方々の協調性や連携力をとても感じ、楽しいボランティアにしたいという気持ちがよく伝わってきて、自分も楽しむために頑張ろうという気持ちになってとても楽しかったです。今回のボランティアは、たくさん子ども達も参加したので、自分の今後の進路にもつながるので、とても勉強になったボランティアでした。次回もあれば参加したいと思います。(信愛大学生)

・昨日と今日の2日間で、遊ぶことの大切さ、楽しさ、なりきることの楽しさを知ることができました。大人も子どもと同じように楽しみ、なりきることにより、とても楽しくコミュニケーションをとることができ、楽しめました。少し、子どもたちの体力についていけないこともありましたが、良い経験になりました。このボランティアを通して、子ども心を思い出すことができ、なつかしい気持ちになりました。この経験を、学校でも活かしていきたいと思います。2日間ありがとうございました。(信愛大学生)

・このコロナの時代に大人子ども関係なく、地域のみみんなで一緒に遊べるということは、非常に重要なことだと感じました。また、様々な子どもたちと触れ合うことができ、どの子にもきちんと個性や考えがあるのだと再度理解することができました。忍者のみなさんが非常に面白く、子どもたちとの接し方も上手く、2日間通して勉強になることばかりでした。ありがとうございました。(信愛大学生)

・大学生になると、なかなか子どものように遊ぶ機会が減ってしまって、今回久しぶりに初めて出会った大人や子どもたちと思いきり遊ぶことができ、心から楽しめました。コロナになって人との距離がはなれてしまっていたのですが、体を使って遊ぶことで心も体も距離を縮めることができるんだと改めて感じました。子どもたちとうまくあそべるか不安もありましたが、大学生にも親しみをもって子どもたちが接してくれてとても嬉しかったです。いい思い出をありがとうございました。(和歌山大学生)

・初日から楽しく参加させていただきました。初日は大人だけで共通点探しゲームやジェスチャーゲームで、あれだけ楽しむことができたのには少し驚きです。当日は子どもたちの無邪気さ、元気さについていきながら私も童心にかえって一緒に楽しめました。また地域の様々な場所を巡ることで地域学習にもつながっているのだと感じます。2日間ありがとうございました。(和歌山大学生)

・今日はお疲れさまでした。子どもたちだけじゃなく、大学生も楽しめてよかったです。このお寺の場所を中心としてまちを遊べて、このやり方は、どこを中心としても遊べてすごいと思いました。盛り上がりすぎて、子どもたちの目がキラキラしていて、こっちもパワーをもらいました。勉強になったので、またやりたいです。(和歌山大学生)

・普通の町並みも、子どもと歩けば宝探しの舞台になり、まちをあそぶという言葉が体感できました。子どものパワフルさや発想力にエネルギーをもらえた気がします。地域の魅力と子どもの力の可能性はまだ無限大であると感じました。(和歌山大学生)

・小学生がとても速くておどろきました。お題がかんたんなものから、めっちゃむずいものまであって解きがいがあったと思います。小学生と色々なものに変身できてよかったです。ひらがな 1 文字のチーム名はちょっと集合しにくかったのですが、その文字から始まる言葉でチーム名をつけると集まりやすかったです。小学生の感度が高くて、大人ももっとレスポンスしたりテンションあげていかないといけないなと思いました。あっという間の 2 日間でした。旗取り、勝てなくて残念でした。ボランティアあんまり行ったことない友だちもさそって来てくれて楽しんでいたのよかったです。(和歌山大学生)

・とても楽しかった！！小学 1 年生達と道路を渡るだけでもけっこう大変で、これからも今回のようなまちを楽しむイベントには、人手が必要であることを痛感した。ボランティアに参加したのは初めてだが、他にも人手を必要とする企画があれば、ぜひ参加したいと思った。(和歌山大学生)

・今日は受付のみのボランティアでしたが、子どもたちのワクワクした様子を見ることができて良かったです。普段子どもたちと接する機会がないのですが、今回受付として関わることができて、とても楽しかったです。次回参加させていただく機会がありましたら、ぜひ忍者側で参加してみたいです。(和歌山大学生・2 日目のみ参加)

・受付を担当する中で、子どもたちと関わることができて楽しかったです。来たときから元気いっぱいの子も、少し緊張している子もいましたが、プログラムが始まってからはみんな笑顔になっているのが印象的でした。(和歌山大学生・2 日目のみ参加)

・普段小学生の子たちと関わる機会がまったくないのでとても新鮮だったし、子どもたちはこういうことを考えたりしているんだなというのも一緒にグループになって行動することで知ることができて面白かったです。今回のイベントは子どもたちを楽しませることがメインだったかもしれませんが、子どもたちと同じくらい自分も楽しむことができたので、とても良いイベントだと思いました。(和歌山県立医科大学生)

・子どもと一緒に遊べて楽しかったです。子どもが元気良すぎてへとへとになりましたが…大人の方や、他大学の方とも交流できていい経験になりました。コロナ禍で交流する機会が少ないので、久しぶりに参加して、多くの人と話せたことが刺激になりました。また次回があれば参加したいです。

(和歌山県立医科大学生)

・今まで子どもと関わる機会が少なく不安でしたが、楽しかったです。どう接すれば良いのかわからなかったのですが、自然体で良いのだと思いました。これから町で子どもたちを見かけたとき、今までよりも気にかけて、困っていないかななどをみてあげたいと思います。最近子どもが迷惑と言われることもあります。元気いっぱい、大人にはない発想力が本当に魅力的だと思います。今日、私も少しだけ子どもに戻って遊ぶことができました。ありがとうございました！(和歌山県立医科大学生)

・子どもたちが元気でとても反応がよく、楽しんでいるのがとてもよかった。大人同士で和気あいあいと遊ぶ時間も楽しかった。学生さんたちもフレッシュでかわいらしかった。将来の先生になる人たちは、このアフタフバーバンが伝える大事なことを理解して、子どもたちとふれあってほしい。(大人)

・大勢の子どもと大勢の大人で本気で遊ぶのが爽快でした。もっとごねる子や、さめた大人もいるかと思いましたが、みんな本気なので恥ずかしくなく楽しんでいました。地元の子がチームにいたので、宝さがしは目印にすぐ気付き、ひっぱってくれました。はじめ、チーム内の役割をこなして仲良くなり、自分達からどんどん動いてくれましたが、そこまでが少し時間がかかりました。(大人)

・前日のワークショップ、当日の朝も、まず大人たちをほぐしてくれたのがとても良かったです。大人の役割は、あくまで子どもの見守りでもしきり役でもなく、共に一緒に遊ぶ仲間というメッセージが良かったです。子どもたちとの町あそびは、1年生男子、とてもかわいかったです。忍者に完全になりきって、「しずかに歩くぞ」「あそこにてきがあるぞ」「かえるになるぞ」と発言がとてもかわいく、イメージの世界の中で遊んでいました。今回大学生がたくさん参加していたのもとても良かったです。(大人)

・小1男子のグループに付き添いました。地図をほとんど見ずに、先々「こっち」と進んでしまい「ちょっと地図見てみる？」とブレーキをかけながら進んで行く感じでした。目的地に着くと積極的に話しかける様子はとてもほほえましかったです。先に行きたくて前に行きたい子と、1つ1つのシチュエーションを楽しんで隠れたり、何かに変身しながら行く子がいて、まとめながら進むのが少し大変でした。(大人)

・あ～ほんとうに昨日今日となんて楽しかったんでしょ。何なんでしょ、心底楽しく愉しませていただきました。ありがとうございました。アフタフバーバン並びに今回のことで関わってくださった方、お疲れ様でした。今日のことは忘れず又どこかでこのことを枝葉のように伝えたり、実践として使えればと思います。(大人)